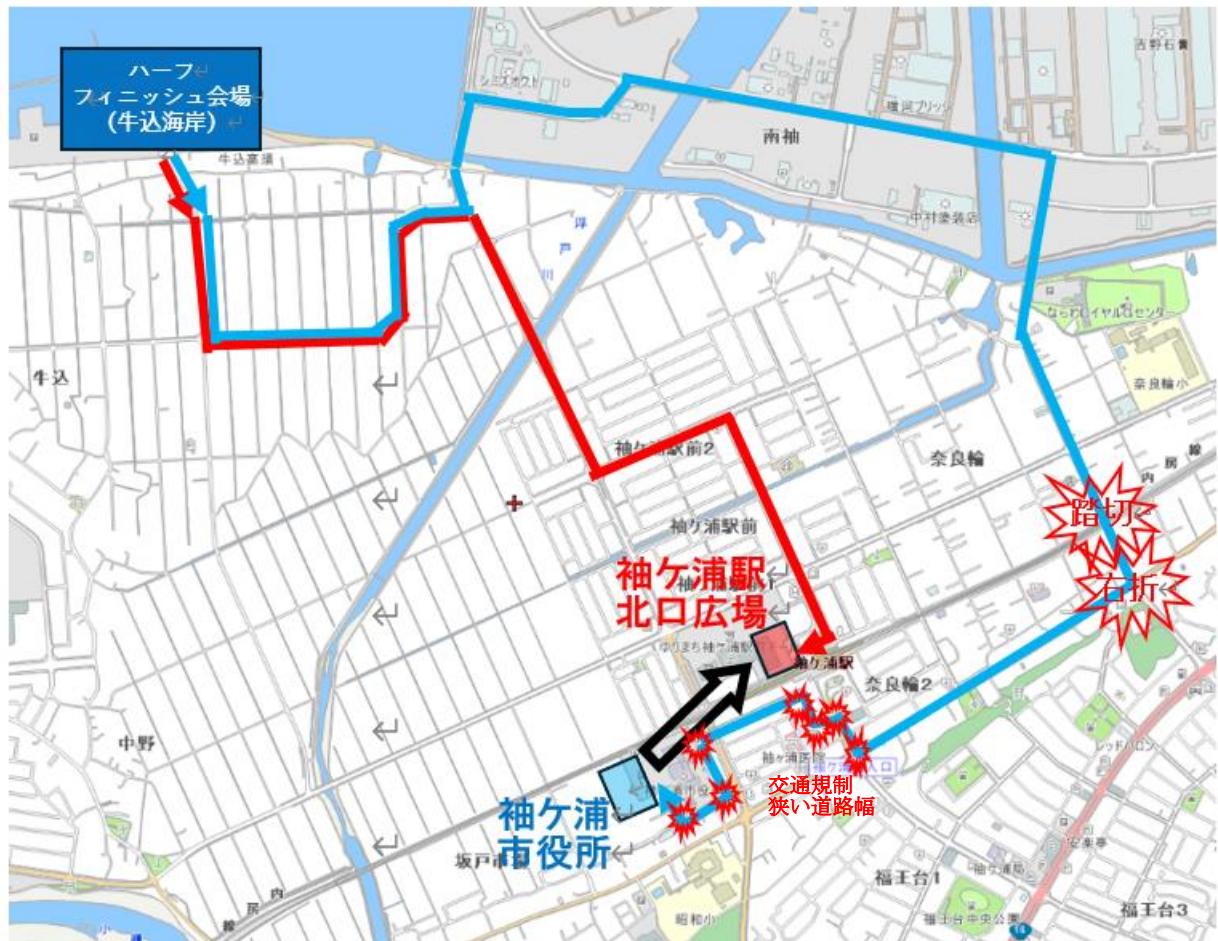


次回大会に向けて（会場変更・設備充実、新規取組み）

1 会場の変更・施設等の充実

（1）ハーフイベント会場・バスルートの変更

- ・ランナーの利便性向上、円滑なランナー送迎のためハーフイベント会場を袖ヶ浦駅北口広場に変更し、バスルートの見直しを行った。



<参考>所要時間等

前回大会（青ルート）

距離 5.3 km

所要時間 一（渋滞により 1 時間以上）

次回大会（赤ルート）

⇒ 距離 3.2 km、

所要時間（見込）約 9 分

(2)女性専用施設の設置等

女性が参加しやすい大会を目指し、女性向けの各種施設を充実する。

①女性専用更衣室の増設

コンテナハウスを活用し、ハーフフィニッシュエリアに女性専用更衣室を増設する。



※引用:三協フロンティア(株) HP

②女性専用ケアエリアの新設

フルマラソンフィニッシュエリアに、女性スタッフがストレッチ指導・マッサージ等を行う女性専用のケアエリアを新設する。



※イメージ

③シャワー施設の設置

イベントエリアの女性更衣室内に WOTA BOX (災害用シャワーキット) を設置する。



※引用:WOTA(株) HP

④女性専用トイレの整備

県が導入した防災用のトイレカー(防災危機管理部から借用)を活用し、女性専用トイレを設置する。

2 新規取組事業

(1) 若年層・女性の参加促進

将来の大会を担う若者の参加を促進するため、参加機会の提供、特典の付与、さらにSNS等を活用した集中的な広報等を実施する。

また、約20%に留まっている女性の参加者をさらに増やすため、挑戦する女性を応援する特典の付与とともに、女性専用施設の充実を行う。

① 学生応援枠(400名)の新設

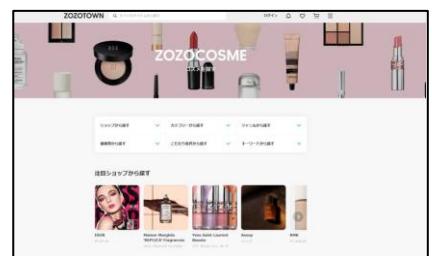
若年層の大会への参加を促進するため、学生の大会参加機会を確保するとともに、参加料負担を軽減するためのクーポン等を提供する。



※引用:ZOZOUSED HP

② 女性応援枠(400名)の新設

挑戦する女性を応援するため、女性の大会参加機会を確保するとともに、「走った後のセルフケア」等を楽しんでもらうため、クーポン等を提供する。



※引用:ZOZOCOSME HP

③ 参加賞 Tシャツの充実

参加賞Tシャツを2色用意し、参加者が選択できるようにする。

参加者の皆様に選ぶ楽しみを提供するとともに、幅広い世代・テイストに対応できるよう色・デザイン等を工夫する。

④ 女性専用施設の設置等(再掲)

⑤ オフィシャルチャレンジャーによる発信

マラソン初心者のインフルエンサーが、基礎トレーニングからステップアップし、本大会での完走を目指す様子を継続して発信するチャレンジ企画。フォロワーやイベント参加者など、当該チャレンジに興味を持つ若者に対し、大会への参加を働きかけていく。

⑥ SNSを活用したPR

広告動画により、若者の関心が高いSNS (YouTube、Instagram、TikTok、TVer) で攻めのPRを実施。

⑦ ちば部(チームマラソン)との連携

若者の仲間づくり・交流の機会を提供・支援する「ちば部」のチームマラソンと連携し、事前イベント等を実施するともに、出走権を提供し、大会を交流の場として活用してもらう。



※2025年11月8日実施
「クリーンストライド」の様子

(2) フルマラソンの魅力向上

① 清見台2段坂イベント

フルマラソンに参加するすべてのランナーに大会を楽しんでいただけるよう、後半の難所である約38km付近の清見台2段坂において、イベントを開催する。大会終了後に公表する「設定時間」との「ピタリ賞」、「ニアピン賞」などとして大会記念品を贈呈する。



(3) その他

さらに大会の魅力を向上させるため以下の取組みを実施する予定、詳細が決まり次第、順次公表する。

- ・富士見通りでランナーのお出迎えを行うウエルカムロードの実施
- ・大会翌日にスタート地点周辺を美化するゴミ拾いファンラン
- ・大会当日にランナーの衣類を回収し、再資源化を図る取組